

# 一/般/質/問 どげんなっとうと？

## 地域住民主体で

**問** 須恵町は女性の就業率が県平均よりも高く、子育て中の女性の就業意欲も高いことから、働きながら安心して子育てができる環境を充実させていく必要があります。ニーズ調査で、夏休みなど長期休暇の学童保育利用希望は、約3割でした。夏休み対応の学童保育の実施は、学校の教室利用で補助金が

**答** 中嶋町長  
活用できます。子育て経験豊富なシルバー人材センターの方や、学校退職後の先生の活用で、高齢者の就業支援や生きがいにもつながります。就業時間や、働き方も多様化している現在、多様な教育・保育サービスの拡充が求められます。留守家庭児童対策の充実についてのお考えは。



今村 桂子 議員

夏休み期間中の子どもたちの見守りをということですが、総合的に考えて子どもにとって一番いいことが子育て支援であって、親の労力を軽減することが子育て支援であるとは思っていません。須恵町では、以



一小学童保育所



二小学童保育所



三小学童保育所

前に放課後子ども教室やアンビジャス広場を実施していましたが、補助金の対象となるのは、基本的に年間を通した通年事業です。子育ての基本として、行政ありきではなく、家庭・親子で夏休みをどう過ごすかを話し合い、子どもが本当に喜び親も安心できる計画を立てる

ことが大事だと思います。そのためには、家庭も日頃から地域とのコミュニケーションを図ることで、地域住民が主体となった、公民館やコミュニティを活用した居場所の確保や、留守家庭児童対策事業の展開ができるのではないかと考えています。

## 中学校弁当給食の実現は？

**Q** (平成25年9月議会)

以前にも中学校弁当給食を実施するか否かが議論されているが、実現しないまま今に至っている。共働き世帯が増加するなど、時代の流れや保護者の要望を考えると、導入が期待される。身体的に生徒の成長を支援する弁当給食の早期実現を。

その後

**ランチサービススタート**  
(平成27年5月)

平成27年5月から選択制のランチサービスが始まりました。生徒・保護者のニーズに応えるため、希望者には、委託業者が作った弁当を提供しています。

従来どおり家庭から弁当を持参するか、ランチサービスを利用するかを自由に選択できます。

この弁当は、栄養士の指導により作られ、各中学校には、保冷温カートで業者から配送されます。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、安全で安心して食べられる弁当をおいしく提供しています。

保護者負担は1食270円で、献立表を参考に1月分をまとめて注文する方式となっています。

まだ始まったばかりで、現在の利用者は約3割程度です。経過を見ながら、利用しやすいランチサービスを目指しています。



**A** 27年度実施に向けて準備中

平成27年度から実施できるように、準備に入っている。実務的内容を検討し、最終判断をしたい。

過去の一般質問の内容に対し、どのような対応がなされたか、また、どのように町政に反映されているのか追跡しました。



搬入の流れ